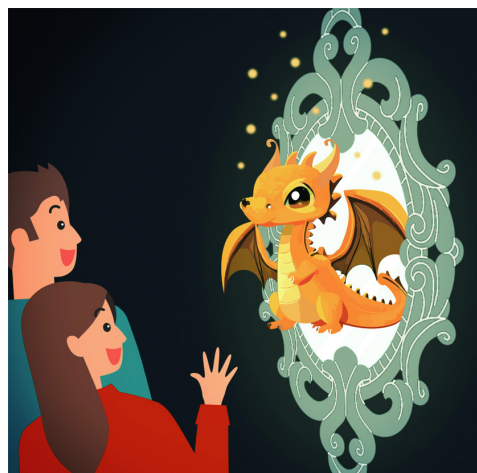




背景

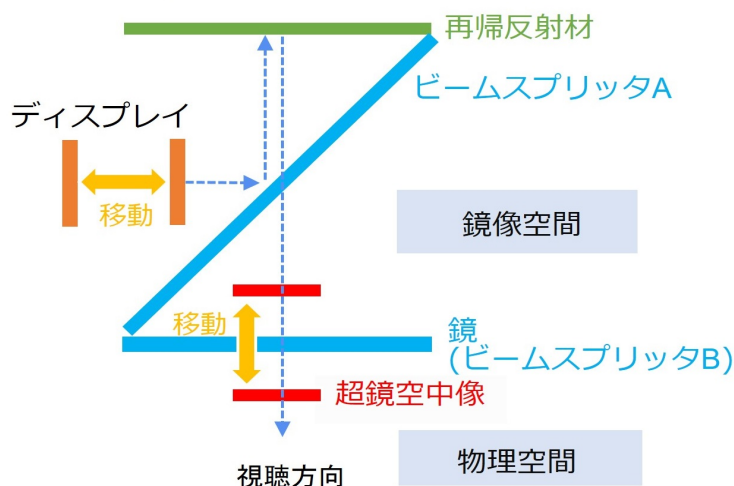
NTTではリアル世界とバーチャル世界が高度に融合した交錯空間の表現として、臨場感の追求だけでなくリアル世界の制約を超えた視聴体験の創出をめざしています。本展示では我々に身近な「鏡」に対し、デジタル情報が鏡面を自在に超えることができる超鏡空中像技術を紹介します。

成果の概要

超鏡空中像技術では、再帰反射光学系と移動ディスプレイによって移動可能な実像を空間中に結像します。これによりデジタル情報がリアル世界に実在するかのように表示するだけでなく、鏡の中と外を連続的に移動する非日常的な視聴体験を、特殊な装着物なしにユーザへ提供できます。



基礎光学系（上面図）



技術のポイント

- 鏡の中と外を出入りするという、これまでフィクションの中で閉じていた表現をHMDやARグラスなどの装着物なしにリアル世界で実現
- 複数人に同時に空中像を観察可能にするために空中像光学系の広視域化を実現
- 臨場感向上のために空中像が周辺環境に与える影や鏡の反射といった光学的整合性を再現

この研究がもたらす未来

鏡を表示面として活用することで日常生活に溶け込んだ情報表示を実現できます。さらにリアル世界とバーチャル世界に鏡の世界を加えた新たな交錯空間表現が期待できます。

出展企業

日本電信電話株式会社

問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com